【WIPO】世界のイノベーションクラスター上位 100 を先行公表、東京・横浜は 2 位
世界知的所有権機関（WIPO）は 2026 年 9 月 8 日、「グローバル・イノベーション・インデックス（GII）2026」の公表に先立ち、世界のイノベーションクラスター上位 100 ランキングを公表しました。
https://www.wipo.int/en/web/global-innovation-index

今回のランキングでは、東京・横浜は世界 2 位となりました。1 位は「深セン・香港・広州」（中国）、3 位は「サンノゼ・サンフランシスコ」（米国）、4 位は「北京」（中国）、5 位は「ソウル」（韓国）でした。

本ランキングは、以下の 3 つの指標をもとに、イノベーション活動の集積状況を評価したものです。

・特許協力条約（PCT）に基づく国際特許出願の発明者所在地
・学術論文著者の所属機関所在地
・ベンチャーキャピタル（VC）投資先企業の所在地

また、WIPO は、行政区域ではなく、発明者、学術論文著者、VC 投資案件の地理的集積を分析してイノベーションクラスターを抽出している点を特徴としています。

国別にみると、中国は 25 クラスター、米国は 20 クラスターを有しており、両国で上位 100 クラスターの約半数を占めました。